2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Ben: Aya, is this a picture of your family?

Aya: Yes. We took it at the park last summer.

Ben: Which girl is your sister?

Aya: She has long hair, and she is wearing a hat.

Ben: Is she the girl with glasses?

Aya: No. My sister doesn't wear glasses. The girl with glasses is my friend, Mika.

Question: Which girl is Aya's sister?

（訳）ベン：アヤ、これはきみの家族の写真？／アヤ：うん。去年の夏に公園でとったの。／ベン：どの女の子がきみのお姉さん（妹）？／アヤ：髪が長くて、ぼうしをかぶっているよ。／ベン：めがねをかけている子？／アヤ：ううん。姉（妹）はめがねをかけていないの。めがねの子は友だちのミカよ。
質問：どの女の子がアヤの姉（妹）ですか。

No.2

Clerk: Hello. What would you like?

Shun: I'd like a sandwich and a coffee, please. Oh, no. An orange juice, please.

Clerk: A sandwich and an orange juice. Today, if you buy a sandwich, you can get an ice cream for one hundred yen.

Shun: Really? Then I'll have an ice cream, too.

Clerk: OK. Please wait a minute.

Question: How much will Shun pay?

（訳）店員：いらっしゃいませ。何になさいますか。／シュン：サンドイッチとコーヒーをください。あ、いや、オレンジジュースをください。／店員：サンドイッチとオレンジジュースですね。今日は、サンドイッチを買うと、アイスクリームが100円になります。／シュン：本当ですか。じゃあ、アイスクリームもください。／店員：かしこまりました。少々お待ちください。
質問：シュンはいくら払いますか。

No.3

Takuya: Emma, who is this boy in the picture? Is he your brother?

Emma: No, he isn't. My brother is the boy next to me. This is Tom.

Takuya: Tom?

Emma: Yes. His father is my mother's brother. Tom and I often played together when we were small.

Question: Which person is Tom?

（訳）タクヤ：エマ、写真のこの男の子はだれ？きみのお兄さん（弟）？／エマ：ううん、ちがうよ。わたしの兄（弟）は、わたしのとなりの男の子。これはトムよ。／タクヤ：トム？／エマ：そう。トムのお父さんは、わたしの母の兄（弟）なの。小さいころ、トムとよくいっしょに遊んだわ。
質問：どの人がトムですか。

No.4

Saki is at a bookstore. She wants to buy a book for her little brother's birthday, but she doesn't know which book is good for him. She asks a clerk.

Question: What will Saki say to the clerk?

（訳）サキは本屋にいます。弟の誕生日に本を買いたいのですが、どの本が弟にいいのか分かりません。彼女は店員にたずねます。
質問：サキは店員に何と言うでしょうか。

No.5

Tom is walking to the station. He drops his handkerchief, but he doesn't notice it. A woman picks it up and gives it to him.

Question: What will Tom say to the woman?

（訳）トムは駅に向かって歩いています。ハンカチを落としましたが、気づいていません。女の人がそれを拾って、彼にわたしてくれます。
質問：トムは女の人に何と言うでしょうか。

No.6

Hello, everyone. I'm Ms. Hill. Last summer, I climbed Mt. Fuji with two friends. We started climbing at night because we wanted to see the sunrise from the top. It was very cold and dark, and I wanted to go back many times. But my friends said, "Let's go slowly. We can get there together." We got to the top early in the morning. The sunrise was so beautiful that I couldn't say anything. I took a picture of it, and now it is on my desk. When something is hard for me, I look at the picture. Next year, I want to climb a mountain in my country, Australia, with the same friends.

Question 1: Why did Ms. Hill start climbing at night?

Question 2: What does Ms. Hill do when something is hard for her?

Question 3: What does Ms. Hill want to do next year?

（訳）みなさん、こんにちは。ヒルです。去年の夏、わたしは2人の友だちと富士山に登りました。頂上から日の出を見たかったので、夜に登り始めました。とても寒くて暗く、何度も引き返したくなりました。でも友だちが「ゆっくり行こう。いっしょにたどり着けるよ」と言ってくれました。わたしたちは朝早くに頂上に着きました。日の出はとても美しくて、何も言えませんでした。その写真をとって、今はわたしの机の上にあります。つらいことがあるとき、わたしはその写真を見ます。来年は、同じ友だちと、わたしの国オーストラリアの山に登りたいと思っています。

No.7

Nina: Hi, Takeru. What are you reading?

Takeru: Hi, Nina. It's a book about space. I want to be a scientist in the future.

Nina: Wow. Where did you get it?

Takeru: I borrowed it from the city library yesterday. It has many beautiful pictures of stars.

Nina: I like space, too. In America, I often looked at the stars with my father.

Takeru: Really? Then why don't we go to the science museum this Saturday? It has a big planetarium.

Nina: Sounds great! What time shall we meet?

Takeru: How about ten in the morning at the station?

Nina: OK. See you then.

Question 1: What is Takeru's book about?

Question 2: Where did Takeru get the book?

Question 3: Where will Nina and Takeru go this Saturday?

（訳）ニーナ：こんにちは、タケル。何を読んでいるの？／タケル：やあ、ニーナ。宇宙についての本だよ。将来、科学者になりたいんだ。／ニーナ：わあ。それはどこで手に入れたの？／タケル：昨日、市の図書館で借りたんだ。星のきれいな写真がたくさんのっているよ。／ニーナ：わたしも宇宙が好き。アメリカでは、よく父といっしょに星を見たわ。／タケル：本当？じゃあ、今度の土曜日に科学館に行かない？大きなプラネタリウムがあるんだ。／ニーナ：いいね！何時に会う？／タケル：朝10時に駅でどう？／ニーナ：わかった。じゃあそのときに。

1　No.1（2点）

イ

答え: イ

・Aya は姉（妹）について "She has **long hair**, and she is **wearing a hat.**" と言っている → 髪が短いウ、ぼうしをかぶっていないエは×。

・Ben の "Is she the girl with **glasses**?" に "No. My sister **doesn't wear glasses.**" と答えている → めがねのアは×（アは友だちの Mika）。

・人物を選ぶ問題は、long / short hair（長い／短い髪）、wear glasses（めがねをかけている）、wear a hat（ぼうしをかぶっている）、with 〜（〜を持った・〜をつけた）などの**外見の語**を1つずつ聞き取り、合わない絵を消していく。No で打ち消された特徴にも注意する。

1　No.2（2点）

イ

答え: イ

・Shun は最初 coffee と言うが、"Oh, no. An **orange juice**, please." と言い直している → サンドイッチ 400円＋オレンジジュース 150円。

・店員の "if you buy a sandwich, you can get an ice cream for **one hundred yen**" より、アイスクリームはメニューの 250円ではなく **100円**。Shun は "I'll have an ice cream, too." と注文している。

・400＋150＋100＝**650円**。アイスクリームを 250円で計算すると 800円（エ）、コーヒーのままだと 700円（ウ）になる。

・値段の問題は、言い直し（Oh, no.）と、ふだんの値段から変わる条件（for 〜 yen / 〜 yen off）を聞きのがさない。

1　No.3（2点）

イ

答え: イ

・Tom は Emma の兄（弟）ではない（"Is he your brother?" → "No, he isn't."）。兄（弟）は Emma のとなりのア。

・"**His father** is **my mother's brother.**"＝Tom の父は、Emma の母の兄（弟）。図で Emma の母と兄弟なのはウ。そのウの**子ども**がイ。

・ウは Tom の父（Emma から見ると **uncle**＝おじ）。Tom は Emma から見ると **cousin**（いとこ）。エは Emma の父。

・続柄の語：grandfather / grandmother（祖父／祖母）、uncle / aunt（おじ／おば）、cousin（いとこ）、son / daughter（息子／娘）。my mother's brother のような「〜の…」は、後ろから順に図をたどる。

1　No.4（2点）

ア

答え: ア

・Saki は弟にあげる本を買いたいが、**どの本がいいか分からない**ので、店員にたずねる。

・相手におすすめを聞くときは **What do you recommend?**（何がおすすめですか）。Which book is better? / Which one do you recommend? も同じ働き。

・イ Can I help you?（いらっしゃいませ・何かおさがしですか）と、ウ How about this one?（これはどうですか）は**店員**が言う表現。エは物を手わたすときの表現。

1　No.5（2点）

イ

答え: イ

・Tom が落としたハンカチを、女の人が**拾ってわたしてくれた**。してもらったことに対しては **Thank you (very much).** とお礼を言う。Thanks a lot. / Thank you for your help. も使える。

・ア You're welcome.（どういたしまして）は、お礼を**言われた側**の返事。ハンカチをわたした女の人が言う表現。

・ウは物を手わたすとき、エは話しかけるときや前を通るときの表現。

1　No.6 (1)（3点）

ア

答え: ア

・"We started climbing at night **because** we wanted to **see the sunrise from the top.**" と一致。

・Why 〜? の質問には、because のあとを聞き取る。夜は "very cold and dark"（とても寒くて暗い）と言っていて、昼が暑かったという話は出てこない（イは×）。

1　No.6 (2)（3点）

ウ

答え: ウ

・"I took a picture of it, and now it is on my desk. **When something is hard for me, I look at the picture.**" と一致。it は the sunrise（日の出）を指す。

・質問の when something is hard for her（つらいことがあるとき）という語句を手がかりに、そのあとを聞く。

1　No.6 (3)（3点）

イ

答え: イ

・最後の "**Next year**, I want to climb a mountain in my country, **Australia**, with the same friends." と一致。

・いっしょに登るのは同じ友だち（the same friends）で、生徒ではない（アは×）。

1　No.7 (1)（3点）

space

答え: space

・Takeru の "It's a book about **space.**"（宇宙についての本）より。

・space は「宇宙」。「宇宙について」は about space で、a や the をつけない。

1　No.7 (2)（3点）

library

答え: library

・Takeru の "I borrowed it from the city **library** yesterday." より。

・borrow 〜 from …＝…から〜を借りる。つづりは l-i-b-r-a-r-y（r が2つ）。

1　No.7 (3)（3点）

museum

答え: museum

・Takeru の "why don't we go to the **science museum** this Saturday?" に Nina が "Sounds great!" と答えている。

・science museum＝科学館。planetarium（プラネタリウム）は科学館の中にあるもので、行く場所の答えにはならない。つづりは m-u-s-e-u-m。

2　問1（4点）

excited

答え: excited

・日本語のメモ「去年参加した生徒の多くが『とても**わくわくした**』と言っていました」に対応。「(人が) わくわくした」は **excited**。

・"Many students who joined last year said they were very (excited)."＝去年参加した多くの生徒が、とてもわくわくしたと言った。

・**exciting** と取りちがえないこと。exciting は「(物事が人を) わくわくさせる」で、The camp was exciting.（キャンプはわくわくするものだった）のように使う。主語が they（＝生徒たち）で、生徒が**感じた気持ち**を表すので excited。

・同じ組み合わせ：surprised（驚いた）／surprising（驚くべき）、interested（興味がある）／interesting（おもしろい）、tired（つかれた）。

2　問2（A）（3点）

イ（weekend）

答え: イ (weekend)

・日本語のメモ「12月**最初の週末**、5日（土）と6日（日）に」に対応。週末は **weekend**、「12月最初の週末」は the first weekend of December。

・土曜日と日曜日の2日間なので weekend が合う。morning（朝）は1日の中の時間、month（月）・season（季節）は「12月の最初の〜」にならない。

・時の表現：weekend（週末）／weekday（平日）／morning・afternoon・evening・night（朝・午後・夕方・夜）。「週末に」は on the weekend / on weekends、「今週末」は this weekend（on をつけない）。

2　問2（B）（3点）

ア（show you pictures）

答え: ア (show you pictures)

・日本語のメモ「5か国から来た外国の先生たちが、**自分の国の写真を見せてくれます**」に対応。

・**show＋人＋物**＝「(人) に (物) を見せる」。動詞のすぐあとに「人」(you)、その次に「物」(pictures) を置く。"Teachers from five countries will show you pictures of their countries."

・同じ形をとる動詞：give（あたえる）／tell（伝える）／teach（教える）／send（送る）／buy（買ってあげる）。

・「物」を先に置くときは、show pictures **to** you の形になる（イは to がないので×）。ウ・エは to の位置や使い方が不自然で、show＋人＋物 の形にならないので×。

2　問2（C）（3点）

ウ（rainy）

答え: ウ (rainy)

・日本語のメモ「**雨の場合は**、かわりに建物の中でゲームをします」に対応。"If it is (rainy), we will play games inside instead."

・天気は **it is ～** で表す。sunny（晴れた）／cloudy（くもりの）／rainy（雨の）／snowy（雪の）／windy（風の強い）。名詞 rain・snow に y をつけると「雨の」「雪の」の形容詞になる。

・If it rains, ～.（雨が降ったら）と言いかえることもできる。

2　問3（4点）

（解答例）I want to talk with the teachers about food in their countries. I like cooking, and I have made curry for my family many times.

解答例: I want to talk with the teachers about food in their countries. I like cooking, and I have made curry for my family many times.

訳: わたしは先生たちと、それぞれの国の食べ物について話したいです。わたしは料理が好きで、家族のために何度もカレーを作ったことがあります。

ほかの例: I want to play games with the teachers. I have played soccer with an ALT before, and it was a lot of fun.

採点ポイント:

・1文目は、キャンプで**やってみたいこと**（I want to ～. など）

・2文目以降は、それに関係する**自分の経験や好きなこと**（I like ～. / I have ～ before. / I ～ last year. など）が具体的に書かれている

・語群（want / like / before）を1語以上使っている

・全体で2文以上。文法・スペルの正確さ（want to のあとは動詞の原形、like のあとは名詞か ～ing）

3　問1（3点）

A

答え: A

・補う文: **I didn't know what to do.**（わたしはどうしたらいいか分かりませんでした）

・A の前は「子どもたちが走り回って、わたしの言うことを聞かなかった」という困った場面。そのあと Ms. Mori が「笑顔でいっしょに遊べばいい」と**アドバイス**しているので、「どうしたらいいか分からなかった」が入るとつながる。

・B の前は、子どもたちがすぐに手を洗いに行った場面。C の前は、Koharu が「また来てね」と言ってくれた場面で、どちらも困っている内容ではない。

3　問2（4点）

2番目=ア（was）・4番目=イ（for）

答え: 2番目 = ア (was), 4番目 = イ (for)

・正しい語順: **it was hard for me** → "At first, **it was hard for me** to talk to the children."

・1: it (ウ) / 2: was (ア) / 3: hard (オ) / 4: for (イ) / 5: me (エ)

・**It is ～ for 人 to …**.＝「(人）にとって…することは～だ」。It は to 以下を指す。for のあとの「人」は **me / him / her / us / them** の形にする。

・過去のことなので is が was になっている。

・**訳**: 最初、わたしにとって子どもたちに話しかけるのは難しかった。

3　問3（3点）

イ（without）

答え: イ (without)

・"You can't eat lunch (without) washing your hands."＝手を洗わ**ずに**お昼ごはんを食べてはいけません。

・**without ～**＝「～なしで、～せずに」。前置詞のあとに動詞を置くときは **～ing** の形にする（without washing）。

・そのあと子どもたちが "went to wash their hands quickly"（すぐに手を洗いに行った）ことからも、「手を洗わないと食べられない」という意味だと分かる。

・for は「～のために、～の間」(Thank you for ～ing.／for three days)、with は「～といっしょに、～を使って」、about は「～について」。

3　問4（4点）

was surprised

答え: was surprised

・本文 "After lunch, the children cleaned the room by themselves. I didn't think little children could do that."（小さな子どもたちにそんなことができるとは思わなかった）より、Moe は驚いた。

・**be surprised to ～**＝「～して驚く」。to のあとに、驚いた原因（see 見る／hear 聞く）を置く。過去のことなので be は **was**。

・**採点基準**: was surprised を正解とする。2語目が s で始まる was shocked / was startled も「思いがけないことに驚いた」意味で本文に合うので許容してよい。was sad など意味の合わない語は不可。

・surprised は「(人が）驚いた」。surprising（驚くべき）と区別する。

・同じ形：I was surprised at the news.（その知らせに驚いた）／I was surprised to hear that.（それを聞いて驚いた)。

3　問5（4点）

イ

答え: イ

・第2段落 Ms. Mori の "Just smile and play with them. They will come to you." と一致。tell 人 to ～＝人に～するように言う。

・ア: "I don't have any little brothers or sisters."（弟や妹はいない)。

・ウ: 働いたのは "for **three days**"（3日間)。

・エ: 最後の日に Koharu がくれたのは **a picture of us**（わたしたちの絵)。どろだんごは2日目に見せてくれたもの。

4　問1（4点）

各クラスの生徒が、自分たちのデザインで大きな旗を作り、体育祭の日に自分たちの席のそばにかかげること。

答え例:「各クラスの生徒が、自分たちのデザインで大きな旗を作り、体育祭の日に自分たちの席のそばにかかげること。」

・下線部①の That は、直前の Kenji の発言 "In our school, the students of each class **make a big flag** with their own design and **put it up next to their seats** on sports day." の内容を指す。

・**採点ポイント**:「各クラスで（生徒が）大きな旗を作る」「体育祭の日に席のそばにかかげる」の2要素。「自分たちのデザインで」があるとよりよい。sports day は「体育祭」「運動会」のどちらで書いてもよい。

・That is an old tradition of our school.（それは学校の古い伝統だ）と続くので、「学校で毎年していること」を答えると考える。

4　問2（4点）

2番目=ア（painting）・4番目=エ（class）

答え: 2番目 = ア (painting), 4番目 = エ (class)

・正しい語順: **are painting our class flag** → "Max and I **are painting our class flag** now."

・1: are (イ) / 2: painting (ア) / 3: our (ウ) / 4: class (エ) / 5: flag (オ)

・**現在進行形＝be動詞（am / is / are）＋〜ing**。「（今）〜しているところだ」。主語が Max and I（複数）なので are。

・Kenji の "What are you doing?"（何をしているの）に答える文で、文末の now からも進行形だと分かる。

・our class flag（わたしたちのクラスの旗）は our → class → flag の順。

・**訳**: Max とわたしは、今クラスの旗に色をぬっているところよ。

4　問3（3点）

ウ

答え: ウ

・2 の Kenji "What is this bird?"、Max "It's an **eagle.**"、Ami "**Max drew it.**" と一致。

・ア: Max は "We have one, but **it's not so big.**"（あるけれど、あまり大きくない）と言っている。

・イ: 旗に色をぬっているのは Ami と Max。Kenji はあとから来た。

・エ: Ami は "Everyone in our class likes it." と言っている。

4　問4（3点）

ア（Don't touch）

答え: ア (Don't touch)

・"The paint is still wet. (Don't touch) it."＝絵の具はまだぬれているよ。それに**さわらないで**。

・「〜してはいけない、〜しないで」と禁止するときは、**Don't＋動詞の原形**で文を始める（否定の命令文）。

・主語がなくても命令文には does は使わない（ウは×）。Don't のあとは原形なので touching（エ）は×。Not だけで始めることもできない（イは×）。

・ていねいにするなら Please don't touch it.、「〜しよう」は Let's 〜.、「〜しなさい」は動詞の原形で始める (Be careful!)。

4　問5（4点）

ウ

答え: ウ

・4 の Kenji の "Is this yours? It was **under our flag**." と、Max の "Yes!" から、Kenji が旗の下でヘッドバンドを見つけたと分かる。

・ア: Kenji は "It will be cloudy in the morning, but it will be sunny in the afternoon." と言っている。

・イ: ヘッドバンドを見つけたのは Max 自身ではなく Kenji（"Is this yours?"）。by himself＝自分で。

・エ: Max は "Our class **won** the relay!" と言っている。

4　問6（3点）

ア

答え: ア

・空欄の直後に Kenji が "The weather news says it will be cloudy in the morning, but it will be sunny in the afternoon." と、**明日の天気**を答えている。

・これからの天気をたずねるときは **How will the weather be 〜?**（〜の天気はどうなるでしょう）。今の天気なら How is the weather? / What's the weather like? 答えるときは It will be sunny. / It's nice and sunny. のように it を主語にする。

・イは**昨日**の天気、ウは曜日、エは通学の方法をたずねる文で、Kenji の答えに合わない。

4　問7（4点）

looking for

答え: looking for

・4 で Max が "I can't find my headband. I need it for the relay." と言い、ヘッドバンドを**さがしていた**。

・**look for 〜**＝「〜をさがす」。前に was があるので、過去進行形 **was looking for**（さがしていた）の形にする。

・**find**（見つける）とのちがいに注意。look for はさがす**行動**、find はさがした結果**見つける**こと。I'm looking for my key.（かぎをさがしている）→ I found it.（見つけた）。

5　問1（3点）

ア

答え: ア

・第2段落 "My grandfather taught me these words when I was in the fifth grade." と一致。

・イ: 何度も転び、"I practiced for two more months, and finally I could ride it."（さらに2か月練習して、ついに乗れた）。

・ウ: 祖父は "**Everyone** falls down."（だれでも転ぶ）と言っている。

・エ: やめたいと思ったが、練習を続けて乗れるようになった。

5　問2（3点）

イ

答え: イ

・第3段落 "I remembered my grandfather's words. I started to practice again **the next day**." と一致。

・ア: 去年の夏は "I **lost** in the first game"（1回戦で負けた）。

・ウ: 祖父とテニスをした話は出てこない。

・エ: 下線部 "Now I say these words to myself when things don't go well." より、今も使っている。

5　問3（6点）

（解答例）① My important words are "Thank you." ② My mother always says them to everyone. When I say them, people smile, and I feel happy, too.

解答例: ① My important words are "Thank you." ② My mother always says them to everyone. When I say them, people smile, and I feel happy, too.

訳: ① わたしの大切な言葉は「ありがとう」です。② 母はいつもみんなにその言葉を言います。わたしがその言葉を言うと、人々は笑顔になり、わたしもうれしくなります。

ほかの例: ① My important words are "Never give up." ② My coach told me these words when I wanted to stop playing basketball. I kept practicing, and I became a member of the team.

採点ポイント:

・①は My important words are 〜. の形で、言葉が1つ書かれている（英語の言葉か、日本語の言葉をローマ字で書いて意味を説明する）

・②は、その言葉を大切にしている理由が具体的に2文以上（だれから聞いたか・どんなときに役立ったか・どう感じるか）

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ